

都市環境学専攻 建築・都市デザイン講座 鵜飼 真貴子さん 博士後期課程1年

自然エネルギー、特に太陽熱を利用した空調システムを研究する鵜飼さん。オフィスビルを対象に、運用段階にある太陽熱冷暖房システムの解析と性能評価に取り組んでいる。「おもしろいですよ。建築っていうと意匠と構造が最初に浮かぶと思いますが、私が考えるのは「環境」。目に見えないけど快適な空間は、人間にも社会にも、生産性を向上させる大切なもの。同時に現代は、そこに省エネルギーが求められる。これをいかに両立させるか。そこがおもしろいんです」。

そんな鵜飼さんが、名大の交換留学生としてスウェーデンの大学に留学したのはM2の時。ストックホルムという街も、集まった学生たちも、グループ単位でフィールドワークしながら成果をだす授業形式も、何もかも新鮮な毎日。英語力と考える幅は格段に深まったと言う。「同年代で、国籍のちがう人と話す機会って日本ではあまりなかったのだから、彼らが何を考えているのか話すのは楽しかったし、名古屋とはまったくちがう気候風土のストックホルムでは、環境についても考えることが多かった」と、ふりかえる。

今は、関わっているビルの空調システムのさらなる改善をめざして奮闘する毎日。企業の技術者やビルのオーナー、立場を越えた人たちが快適な環境と省エネルギー性を求めて知恵を出し合う場に、大学の一員として参加することに、やりがいを感じている。

自然エネルギーの未来をみつめて。



KTH(スウェーデン王立工科大学)

鵜飼さん



留学中の一コマ



真空管型集熱器

太陽エネルギーを熱として集める集熱器。これによって冷房や暖房に利用することができる温水を作りだす。

 名古屋大学

〒464-8601

名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科

TEL.052-789-3455

www.env.nagoya-u.ac.jp/

